

令和5年度 西区組織目標

組織名	西区	区長	水野 利数
組織の目的・方向性	区ビジョンの将来像「快適なくらしと、豊かな自然や食が調和する、住み心地のよいまち」の実現のため、「人と人がつながり、支え合うやさしいまち」、「安心・安全で快適に暮らせるまち」、「豊かな自然と食を楽しめるまち」、「区民が主役の活力あるまち」を目指したまちづくりをすすめていきます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・道路が適切に整備・管理されていると思ふ市民の割合 ・地域活動に参加した経験のある市民の割合 ・新潟市の農水産物などに対してほこりや愛着を持つ市民の割合 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

西区組織目標

区の将来像の実現のため、豊かな自然環境や特産農産物、高度な学術機関など西区の特性を活かし、地域や大学との連携を通して、高齢者・子育て支援、防災、雪・飛砂対策など多様化する地域課題に未来を見据えて取り組み、すべての区民が安心して心豊かに暮らし、住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

この方針のもと、今年度は、次の6つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 環境美化活動への支援や協力を推進し、自然環境の保全を図ります。
- 2 西区特産農産物の県内外へのPRに組み、生産振興と地域活性化を図ります。
- 3 地域活性化を推進するため、地域と大学の交流と連携を支援します。
- 4 子どもたちの健やかな育みを応援するやさしいまちを目指します。
- 5 地域全体で子どもの見守りができる仕組みづくりを進めます。
- 6 交通障害となる飛砂などの対策に組み、安心安全な住環境と道路機能の確保に努めます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	6	達成数	6
取組結果	<p>地域清掃活動の相談などに丁寧に対応し、支援することで、ボランティア清掃の参加団体数は8区の中で一番多くなりました。西区クリーン月間や海岸一斉清掃などに、多くの区民から参加があり、自然環境の保全につながりました。</p> <p>農産物の生産振興と地域活性化では、GI登録製品の「くろさき茶豆」や食と花の銘産品の「いもジェンヌ」をはじめとする西区特産農産物のさらなる認知度向上のため農商工連携による県内外へのPRを実施しました。</p> <p>SNSや各種メディアを活用したPRは、ポストコロナにおいても定着していることから、有効なPR媒体として活用し、併せて対面での販売促進活動</p>				

も再開しました。本年度も「くろさき茶豆農商工連携協議会」及び「いもジェンヌ農商工連携協議会」と連携し、延べ31回の販売促進活動を実施しつつ、X や Instagram を活用した SNS プレゼント企画を実施したところ、27,490 件の問い合わせがありました。

「くろさき茶豆」及び「いもジェンヌ」の SNS のフォロワー数は、前年比 1.4 倍 (17,706→25,411 フォロワー) となり、西区特産農産物の関心の高さをうかがうことができます。

他にも、すいか祭りやいもジェンヌ祭りなどの地域内での消費拡大を図った企画や西区内の小学生を対象に、大根収穫体験や給食メニューへの活用など食育を通じて地場農産物や食文化への理解を図りました。

さらに、親子収穫体験では、くろさき茶豆や新潟すいかなどの特産農産物 7 品目について、延べ 317 組、1,066 人の参加者から収穫してもらい、農家との交流を通じ食と農への理解を深めました。

これらの事業を通じ、西区特産農産物の生産振興と地域活性化を図りました。

地域と大学の交流と連携の推進については、大学や地域にヒアリングを行い、それぞれが抱える連携の実態や課題を洗い出しました。

また、学生を含む区内を中心に地域で活動する個人や団体を繋げる取り組みとして Meetup!NiigataWEST2040 を開催し、学生と地域で活躍する人材との交流を図り、大学との共催イベントも行いました。

子どもたちの健やかな育みを応援するやさしいまちを目指し、乳児期から学齢期（前期）までの各期にわたる子育て支援講座を実施するとともに、妊娠期から 3 歳未満の子育て中の方を対象とした LINE による情報発信「にしっこはぐくみ LINK」の推進などに取り組みました。この LINK への累積新規登録者は 6,600 人を超え、区民に広く浸透しており、子育て中の親の孤独感、不安感の軽減や健全な子育ての応援に寄与しました。

子どもの見守りができる仕組みづくりでは、民間事業者と連携して IoT 技術を活用した社会実証「登下校子ども見守り事業（愛称：コマモル）」に取り組みました。西区内の小学校 19 校のうち、令和 5 年度には想定を上回る 11 校で開始することができ、地域での見守りネットワークの構築することができました。

安心安全な住環境と道路機能の確保に向け、国道 402 号の飛砂対策を講じるとともに、地域の除雪計画の策定を支援するため、自治会等を対象にワークショップ形式の意見交換を行いました。

区民の環境保全やきれいなまちづくりに対する意識の向上を図るため、コミュニティ協議会や自治会・町内会などの協力を得て、西区クリーン月間などの活動に、より多くの区民から参加してもらえよう、引き続き取り組みを進めていきます。

農産物の生産振興と地域活性化では、「くろさき茶豆」をはじめとする西区特産農産物のPRと消費拡大に引き続き取り組むため、農商工連携協議会と連携したSNSによるキャンペーンや首都圏をはじめとする販売促進活動を実施します。

また、西区内の小学校と連携し、子どもたちが地場農産物を知る機会や農業を体験する機会を提供することで地域の食と農への理解を深める場の事業を引き続き実施します。

Meetup!NiigataWEST2040による多様な主体との連携、交流をすすめるとともに、大学が区内で行う新たな取り組みを支援していきます。

子どもたちの健やかな育みを応援するため、子どもの各年代に対応した子育て支援講座を継続していくとともに、「にしっこはぐくみ LINK」を活用して積極的に情報発信をし、育児の不安や孤独感の軽減や仲間づくりに取り組んでいきます。

登下校子ども見守り事業（愛称：コマモル）」は令和6年度までの2年間で西区内の全小学校で実施を予定しており、今後は未実施校でのスムーズな導入に向けた準備を進めます。また、同事業はスマートフォンのアプリでも簡単に参加することができ、参加者が増えることでより安心安全な見守りネットワークの構築につながることから、市民への周知にも努めます。

今後とも、安心安全な住環境と道路機能の確保を図るため、国道402号の飛砂対策に努めるとともに、冬期間も安心して通行できる道路が確保できるよう、地域と一体となった除雪計画を策定します。